

氏名	松田美和
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5438号
学位授与の日付	平成29年3月24日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Increased Anti-HSP60 and Anti-HSP70 Antibodies in Women with Unexplained Recurrent Pregnancy Loss (原因不明反復流産女性における抗HSP60抗体と抗HSP70抗体の上昇)
論文審査委員	教授 大塚文男    教授 松浦栄次    准教授 渡邊豊彦

### 学位論文内容の要旨

Recurrent pregnancy loss (RPL、反復流産)の原因は様々であるが、これらの女性では血管障害がみられ、流産と関連があると考えられている。本研究では、原因不明RPL女性における血管障害と、動脈硬化を惹起することが知られている抗HSP60抗体、抗HSP70抗体との関連を検討した。

RPL女性68人と健常女性29人を同意を得て検討した。RPL女性のうち、14人は抗リン脂質抗体症候群 (APS) と診断されたが、残り54人は原因不明であった。血管硬化度の指標であるbaPWV、cAI、子宮動脈PI値は、健常女性と比較して、APS群と原因不明RPL群で有意に高値であった。また、抗HSP60抗体は原因不明RPL群で高値、抗HSP70抗体はAPS群と原因不明RPL群で高値であったが、抗HSP60、70抗体価は、baPWVやcAIと相関はしなかった。

今回初めて、原因不明RPL女性において抗HSP60抗体、抗HSP70抗体が上昇していることを示した。RPLの病態への関与や、動脈硬化との関連については更なる検討が必要であると考えられる。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、反復流産女性において、抗HSP60・抗HSP70抗体の臨床的意義について検討された研究である。反復流産 (RPL) の原因は様々であるが、RPLの女性では血管障害がみられやすく、流産と関連すると考えられている。本研究では、RPL女性68人と健常女性29人において、RPL群の14人が抗リン脂質抗体症候群 (APS) と診断されたが、残り54人は原因不明のRPLであった。血管硬化度の指標となるbaPWV・cAI及び子宮動脈PIの値は、健常女性に比してAPS群及び原因不明RPL群で高値を示した。抗HSP60・HSP70抗体価は、原因不明RPL群及びAPS群で高値を示したが、baPWV・cAIの値とは相関を認めなかった。今回の研究では、原因不明のRPLにおいてHSP抗体が上昇することが初めて示され、RPLの病態や動脈硬化との関連について、研究の更なる展開が期待される新知見であった。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。